

5.卒業生・保護者等の声

3学期から入舎することになって緊張や不安もありましたが、そこには、楽しい生活が待っていました。お風呂後のストレッチでは、サボることなく毎日行うことができました。また、カードゲームでは職員さんや舎生を交えて楽しく行うことができました。そして、初めての外出では、理療科生と普通科生と3人で卒業される3人のプレゼントを買いに行きました。とても良い外出となりました。そして、初めての調理では不安もありましたが、職員さんや普通科生と協力しながら、美味しい夕食ができました。この寄宿舍で、洗濯や調理など初めてすることがたくさんありました。来年も積極的にたくさんの行事に参加し、楽しい寄宿舍生活を送りたいです。(中学部生)

高等部に入学と同時に入舎しました。最初は親元を離れて生活できるのか、足りないものの予測ができるのか、寂しくなっていないかなど心配しかありませんでした。ですが先生方が寂しくないよう、親以上に気にかけてくださり、先生方に助けをもらいながら自立に向けて生活をし、様々な年代の舎生の方と色々な経験をさせてもらい楽しそうに過ごしていること、居心地の良い場所になっていることがなにより嬉しく思っています。入舎して1年、寄宿舍に入ることができて本当に良かったと思っています。(高等部普通科生 保護者)

自分は今年進学のために来ました。寄宿舍生活の中でトラブルなどもありましたが、困ったことなどもすぐに対応をしてもらえて、料理などをしたり、行事もあつたりしたので、楽しく快適に過ごすことができました。自分は来年度から大学生になります。将来、自分がやりたいことのために頑張っていきます。今年一年ありがとうございました。(高等部専攻科普通科 卒業生)

普通は学校に通学するために寄宿舍に入りますが、私の場合は寄宿舍があったから学校に行っていました。寄宿舍：学校が7：3の割合で、いかに私のなかで多くを占めていたかです。勉強する環境はもちろんのこと年齢や、学年、学部の違う舎生同士の交流も楽しみのひとつです。大きいイベントの「寮祭」では寄宿舍の先生と舎生が一丸となって盛り上がります。コミュニケーション能力もアップ♪通学が大変で勉強する時間が少なかったので、2年生から寄宿舍に入舎したのですが、私にとって贅沢で充実した2年間を過ごさせてもらい、本当にお世話になりました。ありがとうございました。(高等部専攻科理療科 卒業生)

朝のチャイムが鳴り、職員の方のアナウンスが部屋まで聞こえてくると、「今日も一日頑張るぞ！」と思わせていただいています。寄宿舍にきて、規則正しい生活、食事、学習に一つ一つ集中することができ、それと同時に、普段の生活では感じることもないような小さな変化を日々楽しませてもらっています。集団生活でしか味わえない貴重な体験に感謝し、今年度も頑張っていきたいと思います。

(高等部専攻科理療科生)